

■昭和六十二年／新年のごあいさつ

調和のとれた地域の活性化を

岩室村長

金子 誠一

明けましておめでとうございます。

輝かしい新春を皆様とともに心からお祝い申し上げます。

ご承知のとおり昨年は国の内外を問わず円高不況をはじめ、政治・経済・社会と、あらゆる分野で誠に厳しい「試練の年」であったのではないのでしょうか。このような深刻な諸情勢の中で地方自治をあくまで多様化する行政の責任の重大性を感じながら多様化する行政需要に応え、活力ある村政を進めることができましたことは、村議会をはじめ村民の皆様への深いご理解とご協力の賜と感謝しております。

迎える昭和六十二年も昨年と比べ、なお一層厳しさが増すと予想されますが、決意を新たにすべく適正な村政運営をしていく所存です。

さて、今年には国の行政改革最大の課題といわれる国鉄の分割民営化をはじめ、抜本的な「ベッドタウン」的要素から住宅団地の造成を進めることが、「岩室に住んで本当に良かった」といわれる地域づくりにつながるのではないのでしょうか。いずれにしても現在の長期構想との絡みの中で調整を図っていかねばならないものであり、実現には容易ならぬ課題もあ

■昭和六十二年／新年のごあいさつ

持てる熱意を傾注して

村議会議長

藍澤 六郎

明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日ごろ議会にお寄せいただいておりますご理解とご協力に厚く御礼申し上げます。

さて、新しい年も昨年同様、国・地方を問わず行政改革の推進が基本方針とされる極めて厳しい状況にあることはご承知のとおりであります。

本村も今後の経済見通しと政府予算、財政

税制改革も予定されています。本村に深い農政面では、水田利用再編対策から水田農業確立対策へと方針が基本転換され、実施に向けて始動します。これにより従来の補助金等が削減されることはもちろんのこと、食糧管理制度の見直しなど大きな変革を迫られる時期です。さらに福祉面では、老人医療費の個人負担の増額など行政改革はますます加速し、今までの依存型行政運営から自立型の行政運営へと方向転換を図る大切なときと受けとめております。

これら国等の厳しい行政改革の中で、今後、新年度予算の編成に取り組むわけですが、財政的にも厳しい環境下にはありますが、村民の皆様から要望されている各種事業の中で、本村の特性に合った事業を精査選択して、可能な限りその実現に向けて努力していく所存です。そして、この恵まれた自然環境を最大限に活用し、調和のとれた地域の活性化や地域づくりに最善の努力と英知を結集していきたいと考えています。

地域的構想をみると、①間瀬地域は、海・山そして温泉をフルに活用したりゾート地化を目指した地域開発が展望できます。現在進めております田ノ浦地区温泉掘削整備事業は、それらの一環としてとらえております。また、水産業振興を図りながらレジャー船の基地としても活用できる港づくりのため間瀬漁港の拡充整備を進め、併せて公有水面の埋め立て等による海浜公園の造成など二十一世紀を見つめた海洋開発を図ることです。②岩室地域は、岩室温泉のイメージを大切にしながら丸小山公園の整備充実と転作等による特産地づくりなど観光と農業の有機的な連携を図りながら活力のある地域づくりを進める一方、岩室・弥彦を中心とした広域的観光施設の誘致を国・県に強く働きかけ、個性的な観光地づくりを進める。③和納地域は、何んとい

すが、皆様と力を合わせ岩室村の将来の展望を考えるならば決して不可能ではないと確信しております。そのため「創造する岩室村」「活力ある岩室村」を目指し、村のメインテーマである「夢とやすらぎのある村づくり」の具現化に向け、努力してまいります。

何卒本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸をお祈りして、新年のごあいさつといたします。

昭和丁卯歳元旦

であります。

議会としてもこれらを厳しく受けとめ、合理的かつ効率的な行政運営が図られるよう、持てる熱意を傾注して、充実した村政による「明るく住みよい村づくり」のため最善の努力をしていく所存です。今年もより一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、新しい年が皆様にとってよりよい年でありませう心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

